

九州支部より皆様へ

「人生、万事塞翁が馬」世の中の変化が余りにも激しい昨今にあって、全国の同窓生の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと思います。

毎年、全国支部のトップを飾る九州支部の総会の頃には、「六月博多座大歌舞伎」を知らせる恒例行事「船乗り込み」が博多川（歓楽街中洲を流れる）で行われ、紙吹雪が舞い、鐘や太鼓のお囃子が演奏される中、つめかけた多くの観客から「成駒屋！」「日本！」などの掛け声が飛び交い、博多の夏の風物詩になっていきます。

平成二十九年度の九州支部総会は会員三十六名（内新卒者二名）、来賓七名の四十三名の方々に出席頂きました。

懇親会、日舞、カラオケ、抽選会などのアトラクションとトークタイムなどで盛会に開催されました。

九州支部の淵源（発足）は福岡支部として昭和十六年頃と伝承されており、記録がなく残念ではありますが、歴史は相当永いものと思われまます。

特筆すべきは、昭和五十八年から平成十九年（十年前まで）二十三年間、支部長を務め、会則制定をはじめ、自社に常設の事務局、事務員の提供を無償で今日まで続けてこられる程、永年、会の維持発展に尽力された顧問である牧之内先輩の功績は絶大であります。

また、牧之内先輩は、日本の空調のバイオニア的存在の会社を起業し、その後、半導体業界では、世界的に知られた会社も起こされた方で、九州支部は勿論、全校生徒、同窓生すべての誇りでもあります。

今年、十二月十六日で九十二歳を迎えられます、牧之内先輩におかれましては、白寿九十九歳（百歳）のお祝いが済むまでは、毎年、同窓会に「元気」で来やうたもんせとお願い申し上げます。

この一年、支部会員のリオオリンピックの七人制ラグビーで

の桑水流主将の活躍、メジャーで一〇八年ぶりワールドシリーズを制したカブスからソフトバンクへ戻って来た、川崎選手の活躍など「ろうごう魂」に私共は感動を頂きました。

さて、私は、鶴木顧問より支部長の任を引き継ぎ満三年となりました。

諸先輩の高齢化の流れに、個人情報保護・ネット社会の壁もあり、ここ数年の参加者は横ばいの現状です。未だに会員増強が課題です。

最後に、中国四国支部には、昨年の夏のインターハイの応援及び支部総会の相互交流など、大変お世話になりました。また、関東支部総会へは初めて参加させて頂き、ありがとうございました。

各支部の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

九州支部長 外園 哲彦
(S37年機械科卒)

九州支部 役員名簿

- 支部長 外園 哲彦 S37機械
- 副支部長 野崎 弘隆 S36機械
- 顧問 牧之内 繁 男 S17機械
- 滝川 幸辰 S27建築
- 鶴木 孝人 S28電気
- 幹事長 谷口 弘記 S38建築
- 監事 古川 光利 S35土木
- 岩川 誠 眞 S38建築
- 福留 義勝 S35工業
- 川畑 正和 S40機械
- 柳 満達 明 S41機械
- 柳 徳夫 S42建築
- 若松 剛 一 S49建築
- 司 土木 久 S52建築

